

第 16 回 全日本大学開放推進機構 (UEJ) 大学開放研究会のお知らせ

「諸外国の大学開放の動向 –オーストラリアと韓国の事例から–」

2020 年 1 月に WHO のコロナウイルス禍が公表されてから 1 年 8 ヶ月が過ぎました。このパンデミックに世界中が苦しい状況に追い込まれています。コロナ禍をコントロールできる重要な手段の一つがワクチン接種ですが、その普及スピードは遅く、しかもウイルス変異型デルタ株による急速な感染拡大が一層進み、コロナ禍収束の見通しも立たない状況です。コロナ感染確率を最低限にしながら日常生活を展開していくことに、たいへんご苦慮しておられることと推察申し上げます。

UEJ の関西地区メンバーを中心に運営してきました「大学開放研究会」も、同様に、この環境変化に対応してウェブによる研究会運営に昨年より転換を図っています。ウェブによる研究会運営ですが、研究会の財政的な持続性を確保するために、有料制を取っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

この度の第 16 回大学開放研究会では、御二人の講師をお願いいたしました。第一報告は、富山大学地域連携推進機構生涯学習部門教授の藤田公仁子先生に「オーストラリアにおける大学開放の動向」のテーマで、第二報告は、前・創価大学教育学部助教の金明姫先生に「韓国における大学開放の動向」のテーマでお願いしています。今回は海外の事例から大学開放の在り方を学び、日本の大学開放の現状を相対的に評価する機会になればと期待しております。

ウェブによる研究会を続けると、その利点も見えてきました。一つは、物理的な距離に拘束されず、遠方からの参加も可能なことです。もう一つは、アカデミックな研究会はどうしても同じ専門分野の同じ立場の研究者による **internal circulation** になる傾向があるのですが、ウェブによる場合、テーマに関心のある方が分野・立場に関わらず参加していただけることです。これによって研究会が、さらに広範囲の参加を得て、いろいろな視点からの討論が深まることが期待されます。会員だけでなく、大学と社会の関係性にご関心のある方々のご参加を期待しております。

UEJ 大学開放研究会 代表 河村 能夫

日時 2021 年 10 月 9 日 (土) 13:30–17:00

開催方法 オンライン (Zoom) <http://ptix.at/vlnEh8>

予定スケジュール

(総合司会) 出相 泰裕 (大阪教育大学教育学部教授)

13:30 開会の挨拶・参加者自己紹介

13:45 「諸外国の大学開放の動向 –オーストラリアと韓国の事例から–」
(司会) 佐々木 保孝 (天理大学人間学部教授)

【報告1】 オーストラリアにおける大学開放の実践から学ぶ

藤田 公仁子 (富山大学地域連携推進機構生涯学習部門教授)

(要旨) 遠隔教育を実践しているオーストラリアの教育プログラムに触れる機会があり、クイーンズランド大学のプログラムを始めとして、地方都市であるブリスベンで調査を続けています。その意図とするところですが、日本の地方国立大学の大学開放プログラムのヒントとなることが多くあります。重ねて、大学博物館の大学開放の実践を調査しています。curatorの養成のみにとどまらないプログラム、e-ポートフォリオを活用した学習支援等、大学が理想とする生涯学習プラットフォームの役割を担う仕組みづくりが実践されています。大学開放、キャリア教育に関わる新たな学習・能力開発も含め、ご紹介できたらと考えます。



(藤田 公仁子/フジタ クニコ)

1990年、北海道大学大学院博士課程在学中に国立岩手大学に就職。2009年から国立大学法人富山大学に勤務。多様な公開講座を地域住民への「学習機会の提供」として企画実施するとともに、「大学開放」事業を積極的に図り、さらに行政・企業・地域のNPO等と連携して、「地域生涯学習」を推進している。共著として、『大学はコミュニティの知の拠点となれるか』、『大学開放論』、『地域・大学協働実践法』、『生涯学習を組織するもの』などがある。文部科学省「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業(就職・転職支援のためのリカレント教育プログラムの開発・実施)」審査委員。放送大学富山学習センター客員教授。NPO法人全日本大学開放推進機構副理事長。

15:00 休憩

15 : 15

【 報告 2 】 韓国における大学開放の動向

— 「平生教育法」 制定以降の大学開放の取り組みを中心に—

金 明姫（前 創価大学教育学部助教 全日本大学開放推進機構会員）

（要旨） 韓国の高等教育は、1980 年代、90 年代の政府主導の高等教育拡大政策によって、類例のない量的拡大を達成した後、21 世紀の初めに早くも、いわゆる大学全入時代を迎えました。また、高等教育改革の一連の政策と連動した大学開放政策が推し進められ、仕事と学習を連携する「開放大学」、遠隔形態の「放送通信大学」など、高等教育レベルにおけるオールタナティブ教育制度が拡充され、さらに、1999 年の「平生教育法」の制定以降、全高等教育機関の 9 割以上の大学に「平生教育院」が設置されるとともに、社内大学、単位銀行制度など、その形態と内容も多様化しました。今回の研究会では、「平生教育法」制定以降の韓国の大学開放、大学生涯学習の取り組みとその動向について皆様とともに考え、語り合う機会にしたいと考えております。

（金 明姫／キム ミョンヒ）



韓国慶尙南道晉州市生まれ。韓国公州大学校地域社会開発学科を卒業後、2010 年に来日。創価大学大学院文学研究科において教育学の修士号（2014 年）、博士号（2018 年）を取得し、2018 年 4 月から創価大学教育学部助教として勤務（2018 年 4 月～2021 年 3 月）。専攻は高齢者教育・大学開放・高等教育・生涯学習・国際比較教育。主要論文：「近年の韓国における高齢者のための生涯学習の現状と課題」（『日本生涯教育学会論集』第 37 集、日本生涯教育学会、2016 年）、「韓国における高等教育改革下の大学開放—慶北大学の『名誉学生制度』のケーススタディー」（『比較教育学研究』第 55 号、日本比較教育学会、2017 年）。NPO 法人全日本大学開放推進機構会員。

16 : 30 総合討議

17 : 00 終了予定

◆ 参加申込み方法 ◆

対 象： UEJ 会員その他、大学開放や本テーマに関心のある方、学生など自由にご参加ください。

参加費： UEJ 会員・一般（非会員）1,000 円 / 学生（学部・大学院）無料

申込方法： 原則として、下記リンク Peatix（ピーティックス）より web 申込みください。
ご不明な点がございましたら、下記事務局までお気軽にお問い合わせください。

申込先：（Peatix） **<http://ptix.at/vlnEh8>**

【zoom 視聴情報について】

参加申込み完了後、Peatix よりメールでお知らせします。
（@peatix.com からのメールを受信できるように設定をお願いします）

<参考> セミナー支援サービス Peatix ヘルプページ
<https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/home>

お問い合わせメールアドレス

（UEJ 大学開放研究会 事務局） ckamiya1031@gmail.com
（大阪教育大学 出相 泰裕） deai@cc.osaka-kyoiku.ac.jp